

令和 6 年度（2024 年度） 第 1 回柏崎市歯科保健推進会議 議事録

1 日 時 令和 6 年（2024 年）10 月 9 日（水）13 時 30 分から 15 時 15 分

2 場 所 柏崎市元気館 2 階 会議室

3 出席者

(1) 委 員 石川委員（議長）、植木委員、小黑委員、齋藤委員、品田委員、下條委員、西川委員、平田委員、船岡委員、山下委員、若月委員、11 人
（五十音順）

※欠席委員：小川委員

(2) 事務局 宮川福祉保健部長
健康推進課：坪谷課長、金子課長代理、池嶋課長代理、竹内係長、相沢主任
子育て支援課：田中課長
保育課：笹川課長
学校教育課：廣田係長
福祉課：村田課長
介護高齢課：尾崎課長
国保医療課：椿課長

4 会議概要

(1) 開会

(2) 委嘱状交付・委員紹介

(3) 議事

- ・ 令和 5 年度（2023 年度）「第 2 回健康づくり推進会議」及び令和 6 年度（2024 年度）「第 1 回食健康づくり推進会議」の報告
- ・ 令和 5 年度（2023 年度）と令和 6 年度（2024 年度）の歯科保健事業の取組について説明
- ・ 歯科保健に関するアンケート調査の結果について報告
- ・ 歯科保健事業に関する取組について意見交換
- ・ 柏崎市第三次歯科保健計画の策定について説明

議事の概要は以下のとおり

健康づくり推進会議の報告

<資料 1、資料 2>

委員からの意見はなし

令和 5 年度（2023 年度）と令和 6 年度（2024 年度）の歯科保健事業の取組について説明

<資料 3、資料 4>

歯科保健に関するアンケート調査の結果について報告
<資料 5、資料 6>

歯科保健事業に関する取組について意見交換
<資料 7、資料 8、資料 9>

第三次歯科保健計画の策定について説明
<資料 10>

○令和 5 年度（2023 年度）と令和 6 年度（2024 年度）の歯科保健事業の取組について事務局説明

議 長	事務局からは昨年度と今年度の取組の主な点について説明があった。前回の会議の意見を反映したものになっていたと思う。御意見いかがか。
A 委 員	事務局から、様々な部署と連携して取り組むという話があったが、歯の健康展や甘味飲料講座などで、本日配布されたチラシの内容について案内してはどうか。 先日、中学校で体力測定会があり、本日配布されたグッピーヘルスケアアプリのチラシを子どもが貰ってきた。自分自身も身体健康やお口の健康が気になることから、アプリをインストールしてみたら、とても便利だった。保護者が健康に気を配るようになると、子ども達の歯の衛生にも目が向くのではないか。歯科医院へ連れて行く頻度なども、保護者の意識が影響していると思うので、歯と身体健康を一緒に案内をしてはどうか。歯の健康展は身体健康づくりも併せて啓発しているようなので、このようなチラシ類も併せて啓発するのもいいのではないかと思う。

○歯科保健に関するアンケート調査結果について事務局説明

議 長	今の子ども達の現状が分かる内容であった。御意見いかがか。
B 委 員	質問がある。平成 28 年度と比べて、チョコ・あめ・グミを食べる割合が増えているということだが、チョコ・あめ・グミの割合の内訳は分かるのか。ほとんどグミと考えていいのか。
事 務 局	チョコ・あめ・グミの内訳の割合は把握していない。事務局としては、グミの割合が高いのではないかと考えている。
B 委 員	食べ物の性質として、チョコレートと、あめやグミは違う性質のものと考えてもらいたい。なぜかという、チョコレートは

食べて飲み込むと口の中にはあまり砂糖が残らないが、あめやグミは口の中で飲み込むまで時間がかかる。特に最近、グミは店頭にはいろいろな種類があり、子ども達に売れるから置いてあるのだと思う。

完全にキシリトール 100%のものであれば、むし歯予防や歯を丈夫にすることも考えられる。

砂糖が多く入っているものを長時間口の中に入れてみると、粘着性が高く、甘みも長時間残ることから、むし歯菌のいい餌になってしまう。歯科医院ではキシリトール 100%のグミなどを置いてあるところもある。できればキシリトール 100%あるいは 50%など砂糖の量が少ない物を選んで食べさせるようにした方がよい。

事務局 貴重な御意見として、健康教育等の参考にさせていただきたい。

C 委員 事務局からも話があったが、砂糖がどのくらい入っているかを具体的に示して、子ども達への健康教育に使用している。アンケートを見るとイオン飲料・スポーツドリンクを飲む割合はすごく減少している。家庭内でもイベントの時だけ飲むとか、毎日だらだら水代わりに飲むことが減ってきているということだと思う。日々の啓発はとても大事だと感じた。チョコ・あめ・グミについても、どのくらいの砂糖が含まれているかを啓発していくといいと感じた。

D 委員 保育園では遠足等におやつを持っていく。子どもの喜びそうなものが入っているが、みんながグミを一番に食べる様子が見られる。小さい時からグミが好きだと、中学生になっても大人になっても同じなのかと思う。若い女性がグミを大好きで持ち歩いているという話を聞くことがあるが、小さい頃からの習慣なのではないかと思っている。半面、家庭でよく飲むものとしてジュースの割合が減少していて、水・お茶・牛乳を飲んでいるということは、小さい頃の習慣が大きくなっても継続するので、いい習慣がついていくのではないかと思う。

園では、むし歯がなくても定期的に歯科医院へ行こうという話をするが、なかなか受診につながっていないと感じる。中学生のアンケートでは定期的に受診する割合が増えていることから、小さい頃でなくても、中学生ぐらいの時期に身につくと、大人になっても継続されるのではないかと感じた。

いい習慣が小さい頃につけば、大人になっても続くのかと思うと、保育園のうちに取り組んでいければと思っている。

園では独自に甘味飲料の媒体を作成している。目に見える媒体は子どもにも保護者にもよく見てもらえるので、そのようなところから取り組んでいきたい。

E 委員 小学校でも遠足や修学旅行のおやつにグミを持ってくる割合がすごく多い。グミはチャック式の容器であることが多いので、

好きな時に口に入れて食べることができることから、だらだら食べることに繋がっていると思う。

保健室で話を聞いていても、おやつはグミを食べるという子が多くなってきていると感じる。

ジュース類に含まれる砂糖の量については、指導の機会が多いが、おやつに含まれる砂糖の量については、資料も少なく、いろいろな種類があることから、一概に量を示すことができず、なかなか難しい。小学校でも指導していなかったのも、そのような資料があるとありがたい。

アンケートの結果を見ると、小学生の結果はあまり改善が見られなかった。親の手が離れる段階でもあるので、小学校でできることを養護教員会でも話をして進めていきたい。

C 委員	あまりグミを買ったことがなかったので、お店でグミを買ってみた。19粒入っていて、炭水化物が35.7gとなっていた。一袋当たり、糖質が35.7g近く入っているということだと思う。1粒あたりで計算すると1.9g近くになる。それをだらだら食べてしまうことで35.7g近い糖質を摂取することになり、一日の糖分の適量は園児で15gであることから、倍以上になってしまう。食事の前に口さみしいからと言って食べてしまうと、結構な量につながると思った。
F 委員	歯科医師にお聞きしたい。昔からの知識しかなく、チョコレートは歯に悪いが、グミは噛むから歯にいいのではないかと思っていた。そう思っている高齢者も多いのではないかと。グミは長時間噛んでいるとベタベタしてくるから悪く、チョコレートは口の中で早くなくなるからいいのか。どちらがいいということは言えないと思うが、疑問に感じた。
議長	砂糖の量も一つの指標であるが、だらだら食べるということは、持続時間が長くなる。
F 委員	よく噛む食事はよいと言われていて、イベントなどでもよく噛むおかずなど紹介されているが、グミもよく噛むものであると思う。
議長	一般的に、人は甘い物のほうを好むという習性がある。商品であるから、売れなければいけないということであると、砂糖が多くなる傾向もあると思う。
F 委員	両方悪いと思うが、比べられないと思うが。
議長	B委員いかがか。
B 委員	噛むことを目的とするのであれば、グミもいいと思うが、子ども達の場合は、まだ歯が若く、むし歯になるリスクが高い。大人になるとリスクが低くなるので、普通のグミでもいいと思うが、子ども達の場合には、キシリトール100%などできるだけ砂糖が少ないものを選んで食べさせた方がいい。大人になってからはグミでもいいと思うが、高齢者は歯の根元のむし歯が増

	えてきているということもあるので、むし歯予防には、できればキシリトールを使用しているものなど、砂糖が少ない物を選んで食べる方がいいと思う。
議 長	補足説明をすると、永久歯は生えてきた時、生えたてが非常にむし歯になりやすい。その時期を過ぎていれば、それほどむし歯も進行しないと思う。 D委員からも話があったが、小さい時の味覚の慣れは成長しても続く。食事もそうだが、甘い物やだしの味など、頭のメモリーに入るとずっと続く。薄味に慣れている人はいいが、そうでないと大人になっても味が濃くないと美味しくないと言う人がいるように、感覚的なものもある。 フッ化物もそうだが、なぜ若い人にするかというとむし歯になりやすいリスクを減らすという意味がある。砂糖の摂取を限りなくゼロにすれば、むし歯にはなりにくいですが、そんな生活は難しい。 B委員からも話があったが、キシリトールも理論的には 100% のものいいが、コストの問題もあることから、50%程度のものでいいと思う。

○指標に対する進捗状況や、国の「歯・口腔の健康づくりプラン」等について事務局説明

議 長	市の目標値の達成状況や国の方針等も踏まえ、今後の歯科保健事業の取組や、新しい歯科保健計画へ取り入れて欲しいことなど御意見をお願いしたい。 皆さまから御意見をいただく前に、本日欠席のG委員からの御意見について、事務局からお願いしたい。
事 務 局	G委員からは、地域医療に取り組む内科医の立場として御意見をいただいた。

・歯周病について、特に青壮年期では、心臓病や脳血管疾患とも関わりがあることから、身体の病気と関わっていることを、引き続き強力にアピールしてもらいたい。

・高齢期では、オーラルフレイルを予防することで、認知症や誤嚥性肺炎などの予防にもつながることから、こちらも併せてアピールしてはどうか。

・歯科の病気の予防が、内科の疾患の予防にもつながることから、引き続き定期的な歯科健診につなげてもらいたいし、それが生活習慣予防にもつながっていくと思う。

C 委員	1 歳 6 か月児の大人が毎日仕上げみがきをする割合が悪化しているところが気になった。 4 歳児のアンケート結果では、自分で歯をみがく回数が減少している。半面、大人が仕上げみがきをする割合は増加している。コロナ禍の影響もあるかもしれないが、どうしてか気になった。 1 歳 6 か月児はまだ自分でみがくことが難しいため、保護者が仕上げみがきをすることは大切だと思うので、しっかりと啓発していくことが有用だと思う。 4 歳児は親がいつまでも手をかけていくという訳ではなく、自分の歯は自分で守るために自分でみがく、その上で、保護者が仕上げみがきをするというようになっていくといいと思う。 青壮年期の 20 代における歯肉に炎症所見を有する者の割合が、国の目標値にずいぶん遠いと思った。20 代というと、大学生などもいると思う。柏崎市では、園から小学校、中学校と歯科健康教育を行い、手厚く指導していると思うが、高校生や大学生にも啓発していくことも必要だと感じた。健康づくり推進会議の報告にも、柏崎市は大学が 2 つあり、新入生歓迎会のようなところで啓発してはどうかとの意見があったと思う。20 代の歯肉炎は、しっかりみがくことで歯周炎に進行しないので、そのような話ができるといい。
H 委員	障害者施設で勤務をしている。施設では、利用者本人は歯が痛いとか訴えることはなかなか難しく、保護者から歯の相談を受けることがある。最近では、まだ青壮年期だが、歯がボロボロになってしまい、入れ歯にせざるを得ないという方が増えている。現場での管理の難しさや、予防についてどのように支援者に伝えていくといいのかなど、悩むところである。 今回、新潟県の障害児（者）歯科保健推進事業を活用し、歯科医師からの講話を予定している。歯科に関する悩みは増えてくると思うので、支援者に向けての研修などがあるといいと感じる。
I 委員	昨年度より委員として参加していることから、事業所でも高齢の利用者の歯の状態に着目して見てきた。80 代の利用者は、痛みや歯の根元のむし歯で歯が折れてしまう方が多くいることから、自分の歯で食べることを、食べることの楽しみを保つため、受診につなげている。90 代の利用者は、歯が取れてしまう方が多くいたと感じている。 施設の管理者とケアマネジャーをしているが、市のケアマネ連絡会で配布された歯科医院一覧は車いすに対応できる歯科医院が分かり、便利である。かかりつけの歯科医院がない方が多くいるが、一緒にどの歯科医院に行けるか探すきっかけとなっている。 コロナ禍では、歯科医師の訪問歯科健診を中止していたが、利用者の意識も高いので、そろそろ再開につなげていきたいと施

設として考えている。

私自身も子育てをしているが、事業所内にも働きながら子育てをしている人がすごく多い。職員にも声をかけてきたが、園でのフッ化物洗口はすごく助かるという声があった。小学校の歯科健診から歯科受診につながり、定期健診している家庭も多かった。自分の子も、月に1回受診できればしている。

小学校の遠足や登山の時のおやつは、グミがたくさん入っている。それだけ子どもの中でグミが主流だと思う。

ジュースなどに砂糖がどのくらい含まれているかは学校の授業でもあるが、お菓子に対してもそのような機会があるといい。小学生になれば、自分で気をつけようという気づきになると思うので、保護者としては、そのような活動が増えるとありがたい。

J 委員

指標やアンケートから、歯みがきに関することが悪化していることが気になった。特に小学5年生・中学2年生で、みがかないという子までいる。

フッ化物洗口が始まり、むし歯がない子が増えている中で、日々の手入れに関することで悪化が見られているのはどうか。歯を丈夫で長持ちさせるには、日々の手入れが大切であり、定期的な歯科健診、異常があればすぐに受診ということだと思う。日々の手入れに関することで悪化傾向があれば、この部分に対策をとった方がいいと思う。家庭や子どもにアプローチをし、歯みがきの大切さを伝えることを強化してはどうか。

A 委員、G 委員の御指摘のとおり、歯の健康も歯に限定した取組だけでなく、全体的な健康づくりの中で、連携して取り組めるといいと感じた。

市の指標の中に、訪問歯科健診事業の利用者の件数があるが、平成28年度と制度が変わっており、当時は症状がある方を対象としていたが、制度改正があり、現在はあくまで健診事業ということで症状がある人は対象から外れている。現在の状況では目標の達成は難しいと思うので、今後評価を行う際には、事業内容に変更があったことを注釈する、指標の取扱い自体を検討するなどの対応が必要だと思う。

K 委員

歯の健康展に参加し、試食提供等行っている。試食のメニューを各地域のコミセンまつりなどで作り、かみかみメニューを普及している。

食生活改善推進員の活動記録表にお口の健康があるが、食事に関することに目がいってしまう。歯の健康にももう少し関心を持ち、食生活と併せて考えていく必要がある。

疑問だが、いつ歯みがきをしているかというアンケートで、小学5年生も中学2年生も、昼食後の歯みがきの割合が減少している。孫は歯ブラシを持って学校へ行っており、みがいていると思うが、なぜ減少したのか。

E 委 員	小学校では大体の学校で、ランチルームか教室で音楽を流して歯みがきをしている。中学校では全体で音楽を流して歯みがきをしている学校は少ないかもしれないが、歯ブラシはみんな持ってきていて自主的にみがいていると思う。アンケートの結果が休日のことなのではないかと思い、驚いている。
事 務 局	事務局としても昼食後に歯みがきをしている割合が減少しているのはどうしてかと考えていた。 市内の小・中学校に歯科健康教育へ行くと、ほとんどの学校で給食後の歯みがきの時間が設けられており、歯ブラシを持ってくる様子が見られる。 アンケートの方法として、歯みがきに関する設問の前に、学校や休みの日にどうしているかという設問が続いていたことから、E委員の御指摘のとおり、休日の状況を回答した子が多かったのではないかと考えている。また、コロナ禍においては、給食の食べ方や、給食後の歯みがき方法について変更したところもあることから、その影響もあるのではないかと考えている。
議 長	事務局からは今後の質問の仕方など工夫してもらいたい。
F 委 員	私自身とても歯が悪い。小さい頃から親がとても忙しく、歯みがきまで手が回らない状況で育ったせいではないかと思っている。自分の子には、とにかく歯が悪くならないように、歯みがきを一生懸命行った。おかげで二人の子どもはどちらもむし歯がなく、現在も歯は健康だと思う。半面、子どもが母親になると、自分はあまり歯が痛くなったりしたことがないからか、孫には手をかけていないように感じる。 孫の一人は甘い物が大好きである。普段面倒を見ているが、甘い物を食べさせる方も悪いと思い、おやつはおにぎりを与えている。その後、歯みがきをすると思うが、夕方のお迎え後から夕食まで歯みがきをしていないと思う。 質問だが、食事のあとは何分以内に歯みがきをするといいのか。朝食後はすぐ歯みがきをして学校へ行く。学校給食の後もすぐ歯みがきをしていると思う。30分以内がいいなどの話も聞くがどうなのか。 アンケートでは、夕食後の歯みがきや寝る前の歯みがきなどいろいろである。食べた後どのくらいの時間でみがくといいのか。
議 長	学校では、給食後、歯みがきまでの時間はどうか。
E 委 員	10分以内ですぐみがいている。
議 長	学校では時間が限られていることもあるし、食事の内容等によっても変わってくると思う。食事の内容によってはすぐにみがかず、しばらくしてからがいいという考え方もある。機会があれば、御提示したいと思う。
B 委 員	5点ほど提案したい。 1点目、総合的なこととして、年代ごとの歯科口腔保健に取り

こぼしなく、取り組んで欲しい。ライフコースアプローチという言葉も説明にあったが、各年代に応じた歯科保健のアプローチをしていてもらいたい。

2 点目、昨年度も話があったが、忙しい青壮年期の方に、いかに歯科健診を受けていただくか。国民皆歯科健診と言われて久しいが、できるだけ歯科健診を受けてもらい、自分の口腔内の状況を把握し、何かあれば早めに受診をして治療することが必要である。現在の歯周病検診（口腔健診）の実施方法が適切かどうかも含めて、実施方法や機会の設け方を考えてもらいたい。

3 点目、増加傾向にある歯肉炎や歯周炎の対策はどう考えていくか。むし歯は減少傾向であるが、歯肉炎や歯周炎は増加していることから、取組を考えていく必要がある。

4 点目、高齢化社会を迎え、増々高齢者が増えていき、介護予防の必要性が高くなっている。要介護にならないためにどのように取り組んでいくといいのか。

高齢になっても自分の手で、自分の口からおいしい物を食べることは基本である。それができるように何か手伝うことがあれば、そのようなことにも対応していてもらいたい。

5 点目、フッ化物洗口について、昨年度も意見をしたが、新たに 2 つの園が取り組むことになったことは非常に喜ばしいと思う。

私立幼稚園での実施に向けて、市でも取組は行っていると思うが、実施に至らない原因として、一つは費用的な問題、一つはマンパワーの問題、もう一つはフッ化物に対する嫌悪感があると思う。市からの働きかけで理解が得られなければ、専門家に話をしてもらってはどうか。

フッ化物は子どものむし歯を減らすことに有効だということは認められている。有効なフッ化物洗口を受ける機会を失っているということは非常に残念なことである。保育園では機会があるが、幼稚園では機会がないという、機会の損失は大きな問題であると思う。今後もしっかり取り組んでもらいたいし、歯科医師会へ御相談いただければ、力をお借りできると思う。

A 委 員

B 委員の言われたとおり、自分の子は幼稚園に通っていたことから、フッ化物洗口をしていなかった。今はフッ化物洗口しているが、小学校に入った時に、フッ化物洗口することに非常に抵抗があり、1 年生の時には子どもがやりたくないと言って洗口をしていなかった。小さい頃から慣れしておくことは大事なことだと思う。幼稚園がなぜ取り組まないのか。子ども達のことを思えば、フッ化物洗口は実施して欲しいので、ぜひ尽力してもらいたい。

アンケート結果で、4 歳児の仕上げみがきを毎日していないことにびっくりした。毎日仕上げみがきをしている人が 100% であることが理想である。保護者は青壮年期の世代に当たること

		から、その年代の意識改革ができるといい。口と身体の健康について啓発し働きかけが必要だと思う。
		通っている歯科医院からは、仕上げみがきは小学３年生まではしてあげて欲しいと言われ、小学３年生までは、自分や夫、実家の母など、家族が協力し合って行っていた。４歳児は毎日仕上げみがきが必要だと思うので、保護者への意識づけにも尽力してもらいたい。
議 長		習慣化することが大切であり、何気ない毎日ではあるが、ぜひ頑張ってもらいたいと思う。
D 委 員		仕上げみがきの話題があったが、最近の保護者は、子ども達を早く大人にしたいという方が増えているのか、自分が楽をしたいのか、自分でお風呂に入りなさい、自分一人で寝なさい、夜も自分で歯みがきをしなさいと言うことでおしまいになっている方が増えているように感じる。早く手を離されることで、子ども達の心が満たされていないことも多いと感じる。保護者が一生懸命に取り組んでいることは認めながらも、上手に伝えていくことが難しい。
E 委 員		学校で歯科健診後、すぐに受診する家庭とそうでない家庭の二極化が進んでいると感じる。 当校では、歯科健診後、受診していない場合、３回受診勧奨を行うが、それでも受診につながらない人がある。給食を食べられず、痛そうにしている子もいるので、保護者に会ったときには、様子を伝えて受診を促しているが、それでも受診しない場合もあり、小学校からの働きかけも限界がある。 ３歳児健診までは、保護者が直接、歯科衛生士から話を聞く機会があるが、学校に上がると専門的な知識を得る機会が少なくなる。小学校から高校までは、親の手が離れる時期ではあるが、保護者に意識を持ってもらえる機会があるといい。
議 長		当院でも、春の学校歯科健診後に受診勧奨が来たが、受診せず、秋にまた受診勧奨をされたため来院される方がいる。再度の受診勧奨は用紙の色が違っていたが、学校単位での取組なのか。
E 委 員		用紙の色を変えるのは、決まりではなく、学校独自の取組である。受診勧奨の回数も学校により異なる。市での決まりではない。
議 長		承知した。

○第三次歯科保健計画の策定について

B 委 員	今委員の任期はいつまでか。
事 務 局	令和７年（２０２５年）３月３１日までとなっている。

B 委 員	令和 7 年（2025 年）4 月から始まり、その委員の任期が 3 年になり、4 月以降の歯科保健推進会議は年 2 回ということだが、1 回目の会議はいつ頃か。
事 務 局	年 1 回の場合は秋に開催しているが、年 2 回の場合には、6 月または 7 月くらいに第 1 回目、11 月または 12 月くらいに第 2 回目を予定している。
B 委 員	いつ頃決定するか。
事 務 局	令和 6 年（2024 年）内には決まると思う。

(4) 閉会